



とつか

2021年11月会報 第325号

- 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 2021 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- ~ 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」 “Think for the next generation.”
- 2022 スローガン「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤利榮 会計 岡 進 ネット 吉原和子 担当主事 瀬戸俊孝

会員ひと言 ☆失敗によって実を結ぶ☆ 瀬戸 俊孝



私の在籍している湘南とつか YMCA では、毎月、横兵衛家バプテスト教会の堀野牧師が「聖書を学ぶ会」と称し、どなたでも参加できる聖書に触れる機会を開催しています。受洗していない私にとり、キリスト教について考える貴重なひと時です。先だつては「マタイによる福音書 26 章 31~35、69~75 節」のお話でした。

人には大なり小なり失敗や弱さがあります。自分の失敗や人の失敗、自分の弱さや人の弱さを知った時、どのようにそれと向き合いますか？それとも避けますか？日本の社会は「見ざる、言わざる、聞かざる」「臭いモノには蓋」「恥を隠す」「失敗は恥じ」「失敗はマイナス(価値なし)」が多くの人々の心にある態度かもしれません。しかし、キリスト教は 2000 年前、とんでもない失敗をした弟子たちによって、神の愛と助けが与えられ、始まりました、…と。

この話から、私は日々の働きと子育て(一人息子・中3)を考えました、…と申してもそのほとんどは妻に任せっきりということを反省したのはもちろんですが、一人息子ということもあり、失敗しないように道を作ってあげているかもしれないと思いました。今年、受験生の彼にとり、万が一失敗した時はたくさんフォローしてあげようと思っていました。また、コロナの今だからこそ新たな活動に挑戦し、YMCA 活動を拡大できるよう日々精進したいと考えます。

◎今月の聖句◎

思い違いをしてはいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の得たものを、また刈り取ることになるのです。 -ガラテヤの信徒への手紙6章7節-

聖書では「罪の償い」を私たちに教えています。人はお金を借りると当然にこれを返す義務が生まれますが、それ以上に必ず返さなければならないのが「罪の償い」といわれるものです。「罪から来る報酬は死」(ローマ6:23)であり、借金よりももっとも恐ろしいものです。近ごろの不況続きに借金を繰り返して、果てには経営に行き詰まる経営者も少なくありません。主の教えは借金より更に怖い罪の支払いについて、解決の道を説いておられます。



Alexander Scholarship Fund、ワイズの創始者である Paul William Alexander を記念して創設されたワイズ国際協会の基金の略称で、将来 YMCA 主事を目指す青年への財的支援を目的に設置されたもの。東日本区では CS 資金と合わせ「CS・Yサ・ASF 資金」として一括運用して、地域奉仕・YMCA サービス及びその研修事業に用いている。集められた献金の 10% が国際に送金される。

会員数	10月の会合		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・A S F (円)	B A P Y (円)	ロバ (円)
メ ン	11	メ ン	9	90%	他	(円)	(g)				
メネット	8	メネット	1		前月迄	0	0	0	0	0	0
		ゲストら	5		当 月	0	0	0	0	0	0
計	19	合 計	15		累 計	0	0	0	0	0	0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

会長報告

☆ 第一例会～総会～報告 ☆

若木 一美



日時：2021年10月2日(土) 18:30～20:00
 会場：湘南とつかYMCA1階ホール
 出席者：(ゲスト) UniLeaf代表大下利栄子様
 金石万希様(大下様ご友人)
 (ユースリーダーら) 高井陽一郎・田北孝紀スタッフ

(ビジター) 板崎淑子部書記・千葉裕子・兵藤芳朗(鎌倉・敬称略)
 (メン) 若木・浦出・岡・加藤・柴原・瀬戸・土方・吉原(計8名)
 久しぶりでの例会でした…。毎年7月に実施している
 総会とユニリーフの大下代表による1年間の活動報告が
 3カ月遅れでの開催・実施となりました。

当日は総会に先立ち、17:30から会計監査が功藤監事、
 岡会計・吉原副会長・瀬戸担当主事、それに私の計5名
 により実施され、記帳及び手許現金は適正に処理・保管され
 ている旨を内容とする監査報告書が作成されました。

次いで、17:50～18:20には総会が開かれ、20年度事業・
 決算報告と監査報告が提案され、何れも承認されました。
 続いて、事業計画・予算(案)が提案され、会長から実行
 可能な事業のみ実施すること、今期に限り年会費を3万円
 とすることが承認されました。また役員の見直し発表では
 コロナ感染症により1年間活動が出来なかったことから、
 20年度と同じ役職で継続実施いただくことが承認されました。

かくして、会計監査・総会における全議案は、予定された
 時間内にすべて可決・承認されました。

18:30から始まった例会には、ゲスト・ビジターの皆さん
 にもご入室・ご着席いただき、会長兼部長の私から、➡

‘部長公式訪問’を含むあいさつを行い、
 引き続き、ゲスト・ビジター紹介の後は、
 ユニリーフ大下代表による「この1年の
 活動」について、資料を回覧しながらの
 報告を頂きました(写真右)。イギリスに
 あるクリアビジョン・プロジェクトを参考に
 日本で展開したいと取り組んで13年、昨年はコロナの影響
 などありましたが、オンラインの副産物として、三浦学園
 高校や東京家政大学でオンラインによる製作を始め、国際
 キリスト教大学では対面による製作活動、また企業ではオム
 ロン名古屋事業所の支援を受けるとともに制作活動も始め
 ていただいたとのことでした。模型(ブロンズ像)については
 ヨーロッパでは数多く展示されているが、日本では難しさが
 あり、まだ具体的な実現には至っていないが、今後も引き続
 き取り組んでいきたい…とのことでした。



続いて、ユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加され
 た2名のリーダーらから、オンラインでの参加ながらレク活動
 や平山愛香牧師による多様性のお話しに多くを学んだことが
 報告されました。

YMCAからは、今年のチャリティーラン等の現状報告があり、
 終りに、チャーターメンバー
 の川津政義さんが健康上の
 理由により退会された旨、
 報告がありました。

久方ぶりの対面例会でした。



☆ 部大会から ☆ 若木 一美

10月23日(土)、秋晴れの下、第25回湘南・沖縄部大会
 が湘南とつかYMCAの1階ホールにて開催されました。
 コロナの中での会場参加とオンライン併用の大会でした。

第1部は講演会「新型コロナウイルスとの向き合い方」
 講師はエイズ文化フォーラムでお馴染みの岩室紳也先生です。
 COVID-19を正しく理解することにより、その感染経路や
 人との接触の方法や感染する度合いの高いとされる行動を
 回避すること…等々日ごろ生活するうえで気を付けなければ
 ならないことを実践例を挙げ、講演を頂きました。

第2部は冒頭、大久保理事、佐竹総主事からご祝辞を賜り、
 各種報告・連絡・クラブによる報告等が行われ定刻終了、
 懇親会は時節柄中止、参加者は三々五々帰路につきました。



☆第2例会から☆ 加藤 利榮

日時等：10月19日(火)18:30～20:00・湘南とつかYMCA
 出席者：(ビジター) 部書記 板崎淑子

(メン) 若木・浦出・岡・加藤・柴原・鈴木・
 瀬戸・吉原・吉原メネット 計) 10名

【報告】

◎ 第1例会(10/2)：会計監査・総会・UniLeaf支援

【協議】

① 部大会(10/23)関係：若木部長から「進行表」配付、
 各自の持ち分等、役務の割当て・現時点での出席者の
 確認・当日の配付資料等の検討・意見交換を行った。

② 今月の会合：－

ア 11月6日(土)・第1例会は休会

イ 11月16日(火)・第2例会は開催

【YMCA関係】

① チャリティーラン：例年の体制でなく、11/6～20ま
 の間に、‘グループ・個人’で実施する。

② その他、いくつかのイベントに参加してほしい。
 資料等は、追って作成・配付したい。

③ 出席者全員がイベントに向け、体形を整え、整列し、
 各自、順次、発声して記念写真に納まった。 以上

【三秋随想】

☆「ユニバーサル」へ一歩一歩☆

ユニバーサル絵本ライブラリーUniLeaf 大下 利栄子



英国の点字付きユニバーサルデザイン絵本の郵送貸出図書館を日本にも創りたい！2008年に夢だけで応募した横浜YMCA「夢すくすく賞」で、いきなり特別賞を受賞しました。その直後からご支援いただいているのがワイズメンズクラブ横浜とつかクラブ様です。程なく湘南・沖繩部様もご支援くださるようになりました。恥ずかしいことはできない、無私の善意に報いたい…年に一度のクラブ例会での報告は、初心に帰り感謝の心を新たにすることもあります。

2019年、手作り絵本は千冊を超え、朝日・毎日新聞の全国版で紹介されました。秋には内閣総理大臣表彰と共に社会貢献者表彰を受賞、帝国ホテルでの表彰式・祝賀会には加藤様や佐藤節子様が駆けつけてくださり、胸が熱くなりました。

絵本を通して見える子と見えない子が一緒に楽しめるのは大変嬉しいことです。…が、機会は限定的…。今、目指しているのは「旅のユニバーサル」、歴史的建造物のミニチュア像です(写真：バックの建物が台の上に)。たまたま欧州で出会い大感激、日本にも有ったら！盲目の娘と一緒に見たい…！きっかけは私的な願いでしたが、現地のメディアには賛辞が並んでいました…！



「見えない市民に『感動的な瞬間』を提供」「目の見える人々から大きな反響」「市の資産」「実用性の高いジュエリー」「インクルーシブな社会と機会の平等への更なる一歩」「老いも若きも、目の見えない人も見える人も、互いに話し、互いから学び、互いに興味を持つことが出来る。」等々…。

時と場を共有するツールの一つでも増やし、互いに慣れ、自然に話し、「教えてあげる…」から、「発見を分かち合う…」隣人に…。そんな「ユニバーサル」な社会を夢見て一歩一歩…。これからも宜しくお願ひ申し上げます。

(写真は「ベレンの塔」・ポルトガルにて)

(大下様 お忙しい中、貴重なご寄稿を賜り 有り難うございました。)

レザン通信

横浜YMCAワークサポートセンターレザン 相馬 良文

コロナ禍によりバザーなどのイベントが昨年よりめっきり少なくなりました。10月13・14日の2日間、戸塚駅西口のトツカーナにて開催されたお弁当マルシェに出店させていただきました。久しぶりのイベント販売でしたが、お客さんの出足はポチポチ…といったところでした。参加した利用者からは、「楽しかった…。」「また、参加したい…。」などの感想が聞かれました。このような貴重な機会は、加盟する商店会からのお誘いでした。



これからも、地域とのつながりを大切にしながら、活動を充実させていきたいと思ひます。

【随想】

☆ 私の密かな夢 ☆

部書記 板崎 淑子 (鎌倉クラブ)



私は、2020年3月まで横浜YMCAの職員でしたが、最後の2年間は大阪YMCAのたかつきあま保育園(高槻市)で勤務しました。

現在、高槻市内のYMCAの施設は 保育園のみですが、かつては阪急高槻市駅の近くに教室やスイミングプールを備えた会館がありました。20年ほど前に閉館した後も、地域の施設を利用したバスケットボールやサッカー、野外活動等は、スタッフとリーダーたちによって継続されていました。その間も、高槻ワイズの方々が活動をサポートして下さり、夏と年度末のリーダー感謝会、地域の夏祭りやイベントへの出店など、スタッフ、リーダー、ワイズが力を合わせて高槻でのYMCAの灯を絶やさずに守ってくださっておりました。

そして、2014年に「たかつきあま保育園」が開園しました。当初、財団プログラムとの共存も計画されていたようですが、認可保育園の施設内での実施は難しく、同じ地域で活動しながら保育園のスタッフや園児たちとウエルネススタッフやリーダー、ワイズの方たちとの連携・交流はなかなかできないでいました。

私が赴任した2018年は、保育園も5年目を迎え、少しずつ落ち着いてきたところでした。そこで、保育園の子どもたちがサッカークラスに参加できるようにバスを回してもらったり、保育にウエルネススタッフによる体育指導を採り入れたり、地域のお祭りに保育園のスタッフが参加したり、年1回はワイズの例会を保育園で実施したり、園の同窓会にワイズの方たちの協力をいただいたり、…といったスモールステップを重ねながら、地域でのワイズとリーダーとの顔の見える関係作りを進めていきました。

私は、在職中から、せつかく6年間YMCA保育園・こども園に通ってくださり、チャリティーランや国際・地域協力募金、バザー等のチャリティーイベントにも協力して下さった保護者の方々が卒園と同時にYMCAから離れてしまうことに大変残念な思いを抱いておりました。保育園を卒園してからも保護者の皆様が、「見つかる、つながる、よくなっていく」場所として新しいワイズができれば…という夢を、今でも密かに持っています。



〈大阪高槻ワイズの皆さん

～たかつきあま保育園開園5周年記念同窓会にて～

YMCA だより

☆未来を担う青少年育成(教育)の重要性☆ 担当主事 瀬戸 俊孝

湘南とつか YMCA ではここ数年、「リーダー会」の活動が活発に行われています。大学生、専門学校生が中心となり普通の体育活動や学童保育活動とは別に自分たちで興味を持てできる社会活動を彼らのアイディアで普段関わる子どもたちに伝えられるよう行動しています。

昨年から「SDGs」をテーマに、環境問題の様々な企画に挑戦し、日本 YMCA 同盟の企画に代表者が参加したことをきっかけに、柏尾川周辺のゴミ拾いウォーキング、環境を学ぶ勉強会の企画など、幾つか実行しています。そして今回、協力・みんな電力株式会社、協賛・とつかワイズメンズクラブで SDGs を学ぶ企画を実施しました。1 回目は「YMCA X SDGs」、2 回目は「電力について(みんな電力)」の講義をオンラインで、そして10月24日にはソーラーシアリングを行っている「発電所見学」に、若木・吉原両ワイズも共に参加され、行ってきました。

創設された小山田氏(合同会社小田原かごとファーム代表)のお話では、東日本大震災をきっかけに何か動かないといけないという使命を感じたこと、地域創生について発電所の仕組み、実際の苦労と現状など…、多くの気付きを与えられた気がしました。何れも報告します。

SDGs の提唱する持続可能な社会をつくるために17の目標が有り、達成のためには何をやるか?…も大事ですが、今回のようにコースリーダーとともに活動して一番感じたことは、次世代の若者たちの教育、学びの機会を多く提供することが大切だと改めて感じましたし、これこそが YMCA の使命だと思った次第です。

今回の企画も、YMCA に関わるコースリーダーが主体的に興味のあることを相談してきたのがきっかけでした。これからも私たちスタッフやワイズの皆さんで、次世代の若者への教育の機会提供と、共に歩む姿勢で一緒に頂ければ…と感じた次第です。



☆今月の歳時記から☆

‘冬めくふゆめく’ と ‘凧 こがらし’

‘冬めく’ は自然の姿がまだ晩秋らしさを保っているのに感覚を通して冬を感じる場合と、そうした感覚とは別に、時雨や落葉や木枯らしなど自然界の風物そのものがいかにも冬らしく感じられる場合にも ‘冬めく’ といひます。

口の袖あてゝゆく人冬めける 虚子
蓮さわぐ風に星屑冬めきぬ 寒子

次に ‘凧’、今頃に吹く北西寄りの強い季節風を指します。木の葉を落とし枯れ木にしてしまうところから、‘木枯し’ とも書きます。冬のさ中に吹く北風ほど強烈ではありませんが、激しい音を立てて吹きまくり、正に冬の訪れを思わせるのもこの凧です。凧の後の空は寒々と冴えわたります。

海に出て木枯し帰るところなし 誓子
凧や海に夕日を吹き落す 漱石

— 午 —



☆11・12月の集まりについて☆ 会長

- ◎ 11月: 16日(火)・第2例会(6日・第1例会は休会)
6日(土)~20日(土): YMCA チャリティーラン・グループ・個人での参加へ
- ◎ 12月: 18日(土)・15:00~YMCA クリスマス
~追って 詳細については、その都度 お知らせします。~
お問い合わせ先: 瀬戸担当主事・☎045-864-4768

☆川津さんが退会されました…☆ 加藤 利榮



クラブの貴重なチャーターメンバーの川津政義会員が、健康上の理由により9月30日をもって退会されました。東京 YMCA のホテル専門学校を出られて皇居前のパレス・ホテルに入られ、その後、今の葉山に移られたのを機に藤沢駅前のビジネスホテルに…、何度か喫茶室で軽食を共にしたものでした。あの飄々とした風貌には私に限らず惹き付けられた方も大勢いらっしゃると思います。かつて、仕事の関係で鎌倉の街中を歩いていたころ、水彩用のキャンバスを小脇に抱えた彼を、よく下馬の交差点の辺りでお見掛けし、目顔で挨拶を交わしたものでした…。彼は ‘彩遊会’ という水彩画グループの会員で、何度も鎌倉公民館での展覧会に招かれたのが懐かしく思い出されます。奥様共々いつまでもご健勝で…。

~ Happy Birthday ~

若木 一美さん 11月28日
浦出 瑞江さん 11月29日

☆板崎さんの ‘随想’ (前頁) に思う☆ B/E 生

板崎さんの随想にある2枚の写真を拝見して、色々と思い出しました…。その一枚には、大阪高槻の森本さんが写っておられること。“森本さん、益々お元気にご活躍で…” 確か、彼からも以前に寄稿してもらったことが…。有りました…。19年4月号に載っております。そして、その中で、「…前の年の18年6月、大阪北部地震に遭い…。」のくだり、あたかもその頃、ご当人の板崎さんはタカツキアマ保育園に…、となると、災害の面ではどうだったのだろうか…。しかも、もう1枚の方は、18年のアマ保育園5周年記念のスナップが…、今度、彼女にお会いした折には是非その辺の事を…。更に、随想の標題となっている「私の密かな…」とは…? これは見逃せない…! 終わりの8行、部エクステンション委員の一人として、正に…!

(後)

早やバンシュウに…、‘宣言解除’でクラブ活動にも本腰が…。

Change! 2022~

(T/K)